

3 継続的な台湾との交流

3/1・3/6

3月1日に台湾交流特産品フルーツ「なつめ」が、台湾の行政院農業委員会農糧署から市へ届けられ、市内障害者施設や子ども食堂などに配られました。「なつめ」は、小さな青リンゴのような見た目、皮が薄く、主に寒暖差のある台湾南部で栽培されている甘くてジューシーなフルーツです。

また、3月6日には岩間中学校と台湾の台北市にある台湾芸術大学がオンラインで交流を行い、中国語・日本語・英語を交えながらお互いの文化に理解を深めました。

台湾との交流は、これからもさまざまな方面から継続的に行っていきます。



各施設へ「なつめ」を配りました(写真はb&gかさま「ともだちハウス」)



オンライン交流の様子



コンデキ

こんな出来事ありました

1 笠間歴史フォーラムを開催しました

2/19

「石塔が語る中世～穴戸荘岩間上郷からのアプローチ～」と題した「第8回笠間歴史フォーラム」が笠間公民館で開催されました。

茨城大学教授の高橋修^{たかはしおさむ}さんが「岩間不動院の五輪塔をめぐる一八田知家とその忠臣の物語」、土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場学芸員の比毛君男^{ひげ きみお}さんが「岩間上郷の石塔と考古遺物」について、それぞれご講演いただきました。

また、市教育委員会からは、現在進めている笠間城跡保存調査事業の経過報告を行いました。



講演会の様子

(左から) 小沼教育長、山口市長、高橋さん、比毛さん

4 地域医療センターかさま講演会を開催しました

3/2

市立病院・市健康医療政策課・市地域包括支援センターの連携事業として「地域医療センターかさま講演会」が開催され、75名が参加しました。

市立病院の稲葉崇^{いなば たかし}副院長が「ヘルスリテラシー～その情報って本当!? 健康情報の見極め方～」と題し、ヘルスリテラシーとは、自分に合った適切な健康情報を入手して理解することなどを話しました。講演の後には、参加者から健康食品などについてたくさんの質問があり、稲葉副院長が一人ひとり丁寧に答えました。



講演会の様子

2 こども育成支援センター講演会を開催しました

3/5

こども育成支援センター主催の講演会「みんなで見つける成長の芽」が友部公民館で開催され、教育・保健・福祉関係者や子育て中の保護者などが参加しました。

日本臨床発達心理士茨城支部長などを務める大六一志^{だいろくひとし}さんが講師となり、「子どもの気持ちを考える」ことを基本に、読み書き・算数・運動などの能力的な「認知」に対して、自己の力・自尊心・へこたれない心・自立心などの「非認知」を育てることが成長の原動力であるとお話がありました。



講演会の様子(写真は大六さん)

7 災害時の円滑な衛生確保のために協定締結

3/22

一般社団法人茨城県環境保全協会と市は「災害時における災害し尿等の収集運搬の協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、地震や水害などの大規模災害時における、し尿等の収集運搬について、平時から連携体制を構築し、円滑な処理を行うことを目的としたもので、災害発生時の仮設トイレ調達や汲み取りについて、市の要請に基づき協力をいただく内容です。

今回の協定締結により、災害への備えが一層強化されるものと期待されます。



(左から) 山口市長、
(一社)茨城県環境保全協会 岡島正明理事長

5 スポーツ推進のために寄附をいただきました

3/8

一般社団法人笠間青年会議所から「こどもたちのスポーツ推進のため、スナッグゴルフ事業に役立ててほしい」と84,500円の寄附をいただきました。

笠間青年会議所主催のチャリティゴルフイベントを通していただいたもので、栗又佑樹理事長は「ゴルフは大人のイメージでしたが、スナッグゴルフは子どものころから親しめるもの。子どもたちのために役立てていただければ」と話されました。

市主催のスナッグゴルフ大会などに活用させていただきます。

ご厚意に感謝します。



(左から) (一社)笠間青年会議所 横手事務理事、栗又理事長、
山口市長、埴委員長

8 新1年生に防犯ブザーを寄贈いただきました

3/27

市内の小学校および義務教育学校の新1年生の皆さんに、株式会社常陽銀行から防犯ブザー570個を寄贈いただきました。

この寄贈は常陽銀行の地域貢献活動の一環として行われており、今回で19回目。安心して生活できる地域社会づくりに貢献していきたいという願いが込められています。

毎年のご厚意に感謝します。



(左から) (株)常陽銀行友部支店 大友光広支店長、山口市長

6 新1年生に交通安全帽子を寄贈いただきました

3/24

4月に小学校および義務教育学校で新たに1年生となる570名の児童の皆さんへ、常陸農業協同組合（以下、JA常陸）から黄色い交通安全帽子が贈呈されました。

JA常陸からは、毎年安全帽子を寄贈いただいており、その歴史は昭和51年からで、今年で47回目になります。

変わらぬご厚意に感謝します。



(左から) JA常陸 角田常務理事、秋山代表理事組合長、
山口市長、小沼教育長

11

大日堂の公開開始

4/23

笠間出身の日本画家 木村武山きむら ぶざんが昭和10年に建てた「大日堂」の公開が開始されました。また、公開に先立ち、4月15日には開館式が行われました。

市は、貴重な文化遺産を後世に継承するため、武山の生家邸内に建立されている大日堂を令和4年2月に取得した後、文化遺産の公開活用のための整備を進めてきました。

拝観は事前予約制（大人（大学生以上）500円、小人（小学生以上高校生以下）300円）で、毎月第2・第4日曜日の午前9時～午後4時に公開されています。



大日堂外観



（左から）（一社）笠間観光協会 本間会長、笠間市議会 大関議長、山口市長、田所衆議院議員、第65区 猪野区長

9

IT未来高校が開校

4/7

全国初のIT専科高校である「茨城県立IT未来高等学校」が開校しました。

県の森作教育長からの「開校宣言」後に入学式が行われ、1期生65名が緊張した面持ちで式に臨みました。

同校は、県内初の「IT科」を設置。ITに関する実践的な教育を主眼とし、情報活用による課題解決能力の養成を目指しています。

笠間の地からITを通じて世界に羽ばたくことを期待します。



入学式の様子



校舎正面

12

軽EV公用車に、寄附金を活用してラッピングを行いました！

5/15

公用車として購入した軽EV自動車に、カーラッピングを施しました。

ラッピングには、株式会社安達工業所（笠間市上郷）の寄贈サービス付私募債「社会貢献応援債」の発行を通じて、発行受託先である株式会社常陽銀行との連名による寄附金を活用させていただきました。

寄附に対しまして、改めて感謝します。

このEV車は、脱炭素の普及啓発と合わせて市内外への業務に活用していきます。



（左から）山口市長、（株）安達工業所 安達代表取締役

10

医療従事者へ栄養ドリンクを寄附いただきました

4/17

水戸ヤクルト販売株式会社から市立病院へ栄養ドリンク「タフマンV」200本を寄附いただきました。

この寄附は、株式会社ヤクルト本社が実施している取り組みで、全国の医療従事者への感謝の気持ちとして栄養ドリンクを寄附しているそうです。

温かいご支援に感謝します。



（左から）市立病院 石塚恒夫病院長、水戸ヤクルト（株）能本貴史さん